



「私も一言」 アルバイター

私たちにも一言
せて！ 90人を超える
ミカンアルバイターは
魅力的なキャラクター
がいっぱいだった。口
からこぼれるのは来し
友、ミカン収穫への思
い、愛媛の印象。

2008年は面接で涙
をのんだ今村匠一(28)
福岡県。念願の収穫を
しながら「真穴はみんな
来たがから高倍率なん
ですよ」。季節アルバイ
トの前は東南アジアやイ
ンドを旅し、休日には感
謝を含めて家族に本場仕
込みのカレーを作った。
ミカン山の弁当タイ
ム。福岡友明(28)東京
都はおにぎりをほほほ
り、農家の「親方」らの
話に聞き入る。「お互い
鼻水垂らしているところ
から知っている話しがり
。面倒なこともあると思
うけど、都会のマシヨ
ンに住むより面白そ」
10年前から来てして、
今では農家に自作の打葉
器まで置いてある新刊
史(3)富山市の第一
印象は今も鮮明だ。「山
がミカンだらけでカルチ
ャーショックを受けた。
これ全部摘むの？ オレ
大丈夫かな」
元産地アルバイター加
藤剛(39)広島市はパイ
ク事故の広がりが癒えな
いまま、会社の土休みに
現れた。「そのへんで
やめどけ」と親方に言わ
れても「いたあ、いたあ」

これ全部摘むの？／ホッとしたいから来てる／「いりこみそ」お気に入り



ど、今はいい仕事と思
う。同じ家を働く中村
愛裕美(22)京都府は
「近所のおいちゃんや
おばあちゃんと戦時中や
恋愛の話で盛り上がり
てる。農家の「お父さん」
が「これは息子3人だっ
たら女の子に遠慮して
ます」とほやくと、「お
母さん」は笑って「そん
なことないでしょ」
八幡浜でおいなのは
ミカンだけじゃない？
佐々木智美(25)熊本県
は生魚が大の苦手だが
「勇気を出して釣りたて
のアジを食べたらおいし
かった」。深谷梨加(26)
岐阜県はお気に入り
は「いりこみそ」。麦み
そ、しょうがと合わせた
家庭の味を「毎日いただ
いてます」。
夫婦の参加も。小山
景子(31)太一(30)神
奈川県は09年10月に
結婚したばかり。屋久島
で6年間、タンカンやボ
ンカンの収穫をしてい
た。「愛媛の農家は働き
者」と舌を巻く。

と「めきながら収穫。多
数の産地バイトを経験し
たが「ここは別格。息子
のまじり受け入れてくれ
る。ホッとしたから来
てる」と言う。
日もすっかり暮れ、農
家の離れで望月剛(25)は
民俗学者宮本常一の著書
を読む。「世間師(しょ
けんし)」という言葉が
気に入った。旅から旅に
渡り歩く人の意とか。実
家は静岡の茶農家で「お
茶はミカンは違えども、
体で覚えるのは勉強にな
ります」。



うと内地に来たけど、今
な」と思いにひける。
野崎加奈子(33)東京
知香(27)福岡県は都
の部屋には白衣と金
剛杖。「この家に生まれ
ていたのか、勧められて
らどうなっていたのか
と聞き返す。直之は
歩き通しま
がら、マホも音楽活動をし
ながらのアルバイト生活だ
が、ほかのバイトを選ぶ
基は「真穴にミカン摘
みに来れるか」。
こたつで
温まる田中
美有紀(25)
愛知県は「実家では
お母さんがおにぎりを
作って持ってきてくれた
。将来は木工な
どで伝統工芸修業に身
を投じてみたいだ」。

